

## 第4回 国分寺都市計画道路3・2・8号線沿道まちづくり協議会

日 時 平成20年1月24日(木) 午後7時00分～  
場 所 ひかりプラザ 203・204号室

### 議 事 次 第

#### 1. 開会

#### 2. 副市長挨拶

#### 3. 議 題

- (1) 次世代アンケート調査結果(報告事項)
- (2) まちづくり将来像について(前回の意見の整理)
- (3) まちづくり将来像について検討・協議
- (4) その他

#### 4. 閉 会

(配布資料)

資料4-1:次世代アンケート調査結果について

資料4-2:第3回全体協議会意見から見た視点整理表

## 国 3・2・8 号線沿道まちづくりに関する次世代アンケート調査結果について

### 1. アンケート調査の概要

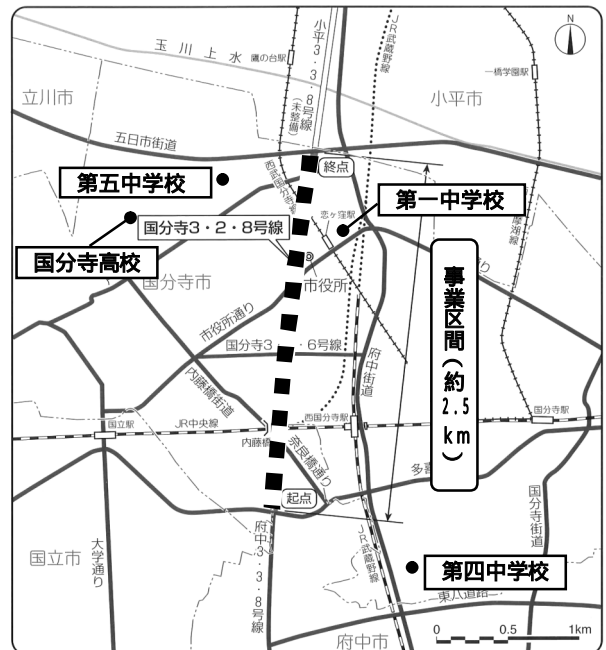
#### (1) 実施目的

本調査は、国 3・2.8 号線沿道まちづくりの計画検討において、多様な立場からの視点とともに、長期的な展望が必要であることから、次世代を担う若者の意見を把握することを目的に実施したものである。

#### (2) 調査対象

市内公立高校生および国 3・2・8 号線周辺の中学校生徒のうち、1, 2 年生を対象とした。

学校名	人数
都立国分寺高校	640 名
市立第一中学校	376 名
市立第四中学校	240 名
市立第五中学校	264 名



#### (3) 質問内容

- 問 1 . あなたのことについてお伺いします。  
 問 2 . 国分寺はどのようなまちだと思いますか。  
 問 3 . 新しい道路ができる時に、あなたは、どのような歩道を整備してほしいと思いますか。  
 3-1 . まず、歩道のみどりは、どのようなイメージがよいと思いますか。  
 3-2 . 歩行者と自転車の分離は、どちらのイメージがよいと思いますか。  
 問 4 . 新しい道路ができる時に、道路沿いのまちなみが、どうなったら良いと思いますか。  
 問 5 . あなたは、新しく出来る道路の沿道まちづくりに関心がありますか。  
 問 6 . その他、国分寺のまちづくりや道路についてご意見があればご自由にお書きください。

#### (4) 調査方法

クラス単位ごとに調査票を直接配布・回収するものとした。

#### (5) 実施状況

実施時期：平成 19 年 11 月 12 日～12 月 14 日

配布数：約 1,520 枚

回収数：1,427 枚

国分寺高校：608 枚

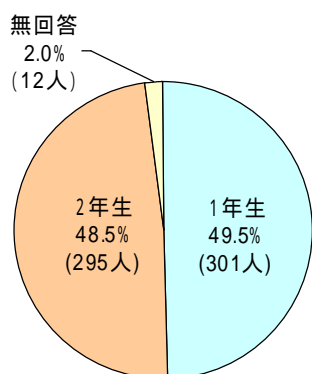
第一中学校：360 枚 第四中学校：214 枚 第五中学校：245 枚 計 819 枚

回収率：約 94%

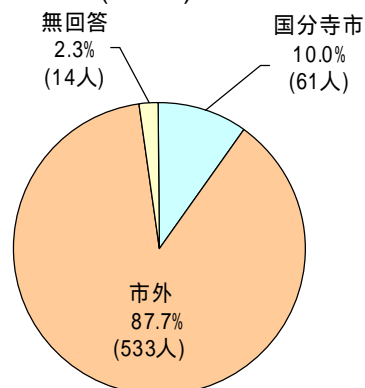
## 2. 中高生アンケート（国分寺高校）調査結果

### 問1. アンケート回答者の属性

学年 (n=608)

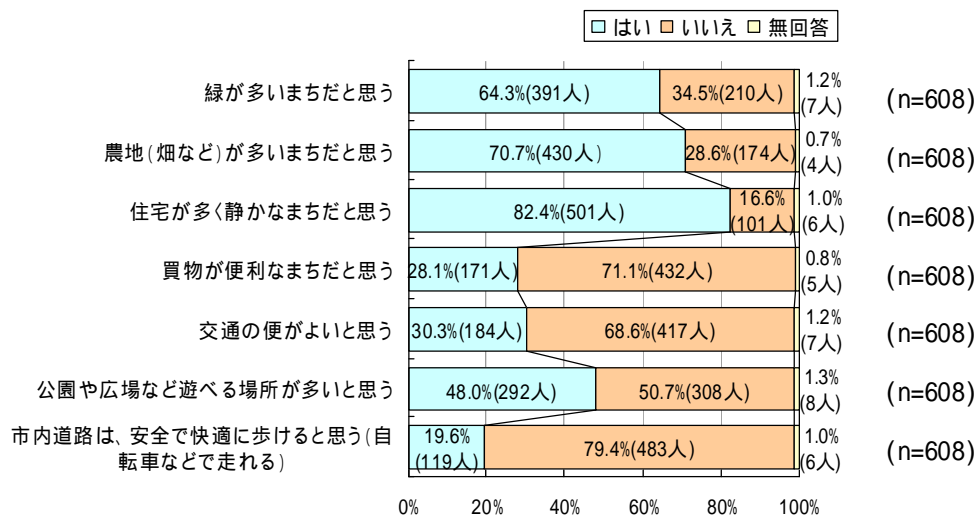


お住まい (n=608)



### 問2. 国分寺のまちのイメージ

住宅地として静かなまちのイメージが強い反面、まちとしての利便性や安全性が不足しているイメージを持っている。中学生に比べ、この傾向が顕著に表れている。

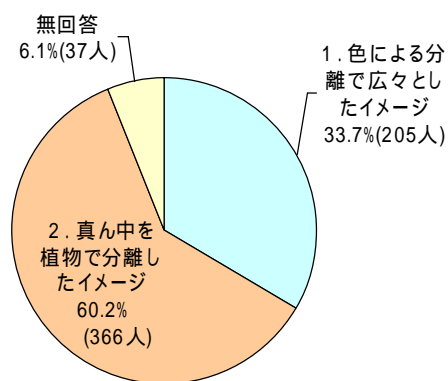
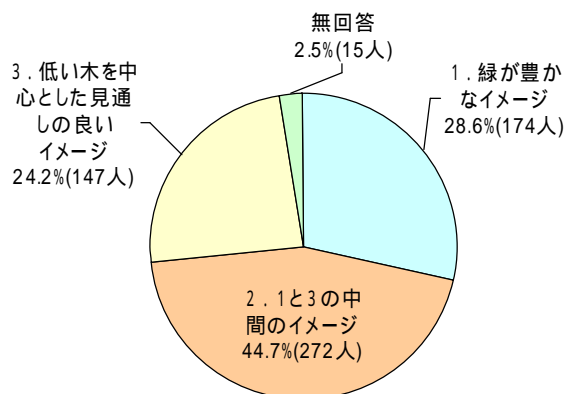


### 問3. 新しい道路ができる時の望ましい歩道整備イメージ

3-1. 歩道のみどりのイメージ (n=608)

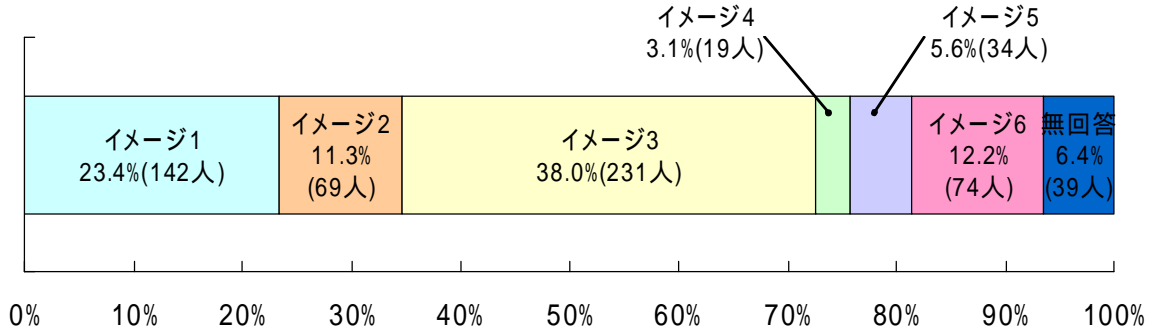
3-2. 歩行者と自転車の分離イメージ (n=608)

歩道としては、歩行者と自転車を物理的に分断することで安全性を確保し、環境面と防犯面をあわせ持つ、低・中高木混在の植栽イメージが求められている。



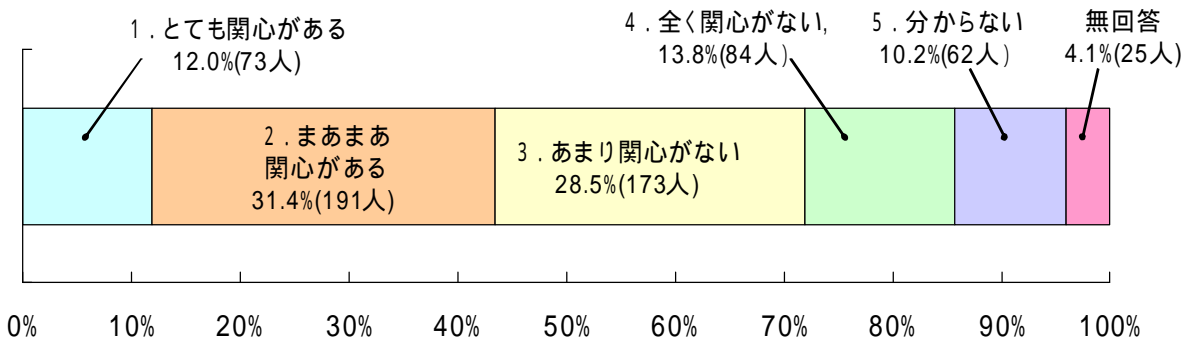
問4 . 新しい道路ができる時の望ましい沿道イメージ (n=608)

問1のまちづくりイメージで不足と感じている、ある程度の利便性(コンビニの出店など)を確保しつつ、緑を大切にするイメージが求められている。また、自転車利用の安全性(交通安全)と防犯上の安全性を確保することもイメージを選択する際の重要なポイントになっている。



問5 . 沿道まちづくりに対する関心度 (n=608)

沿道まちづくりに関心があるのは、概ね4割程度となっている。

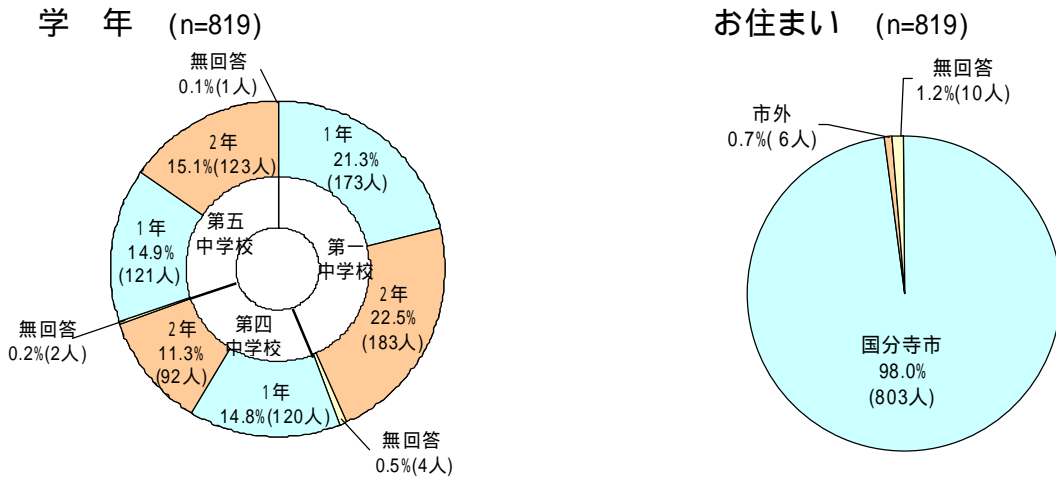


問6 . 自由回答(高校生)

自由意見については回答者の意見を正確に伝えたいため、別途整理を行い閲覧の予定。

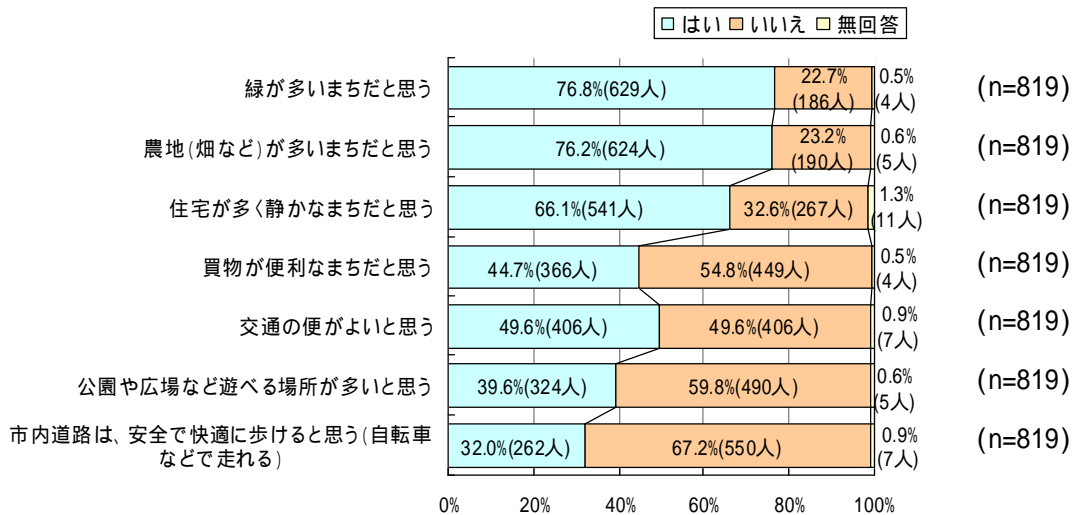
### 3. 中高生アンケート（第一・四・五中学校）調査結果

#### 問1. アンケート回答者の属性



#### 問2. 国分寺のまちのイメージ

高校生に比べ、住宅地として静かなまちのイメージ、利便性や安全性が不足しているイメージが少なくなる反面、農地や緑の多いまちのイメージが強く印象づけられている。

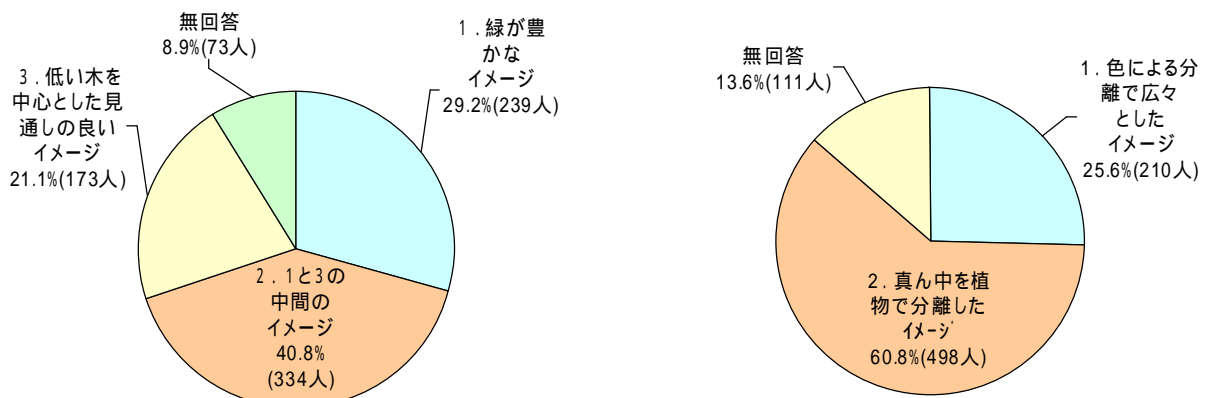


#### 問3. 新しい道路ができる時の望ましい歩道整備イメージ

##### 3-1. 歩道のみどりのイメージ (n=819)

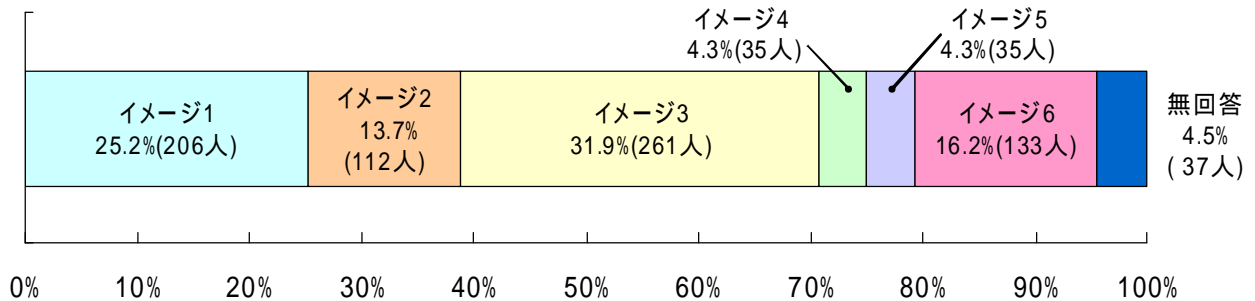
##### 3-2. 歩行者と自転車の分離イメージ (n=819)

高校生の傾向と同じく、歩行者と自転車を物理的に分断することで安全性を確保し、環境面と防犯面をあわせ持つ、低・中高木混在の植栽イメージが求められている。



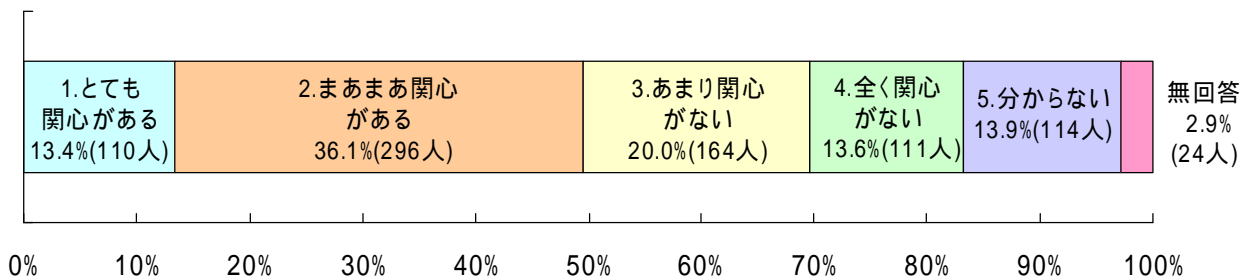
問4 . 新しい道路ができる時の望ましい沿道イメージ (n=819)

高校生と同様、ある程度の利便性（コンビニの出店など）を確保しつつ、緑を大切にするイメージが求められている。特に、国分寺の緑（国分寺らしさ）を残したいという意見が多く見られた。また、自転車利用の安全性（交通安全）と防犯上の安全性を確保することもイメージを選択する際の重要なポイントになっている。



問5 . 沿道まちづくりに対する関心度 (n=819)

沿道まちづくりに関心があるのは、概ね5割程度である。国分寺に住んでいる中学生の方が高校生に比べ、沿道まちづくりに対する意識・関心が高い傾向となっている。



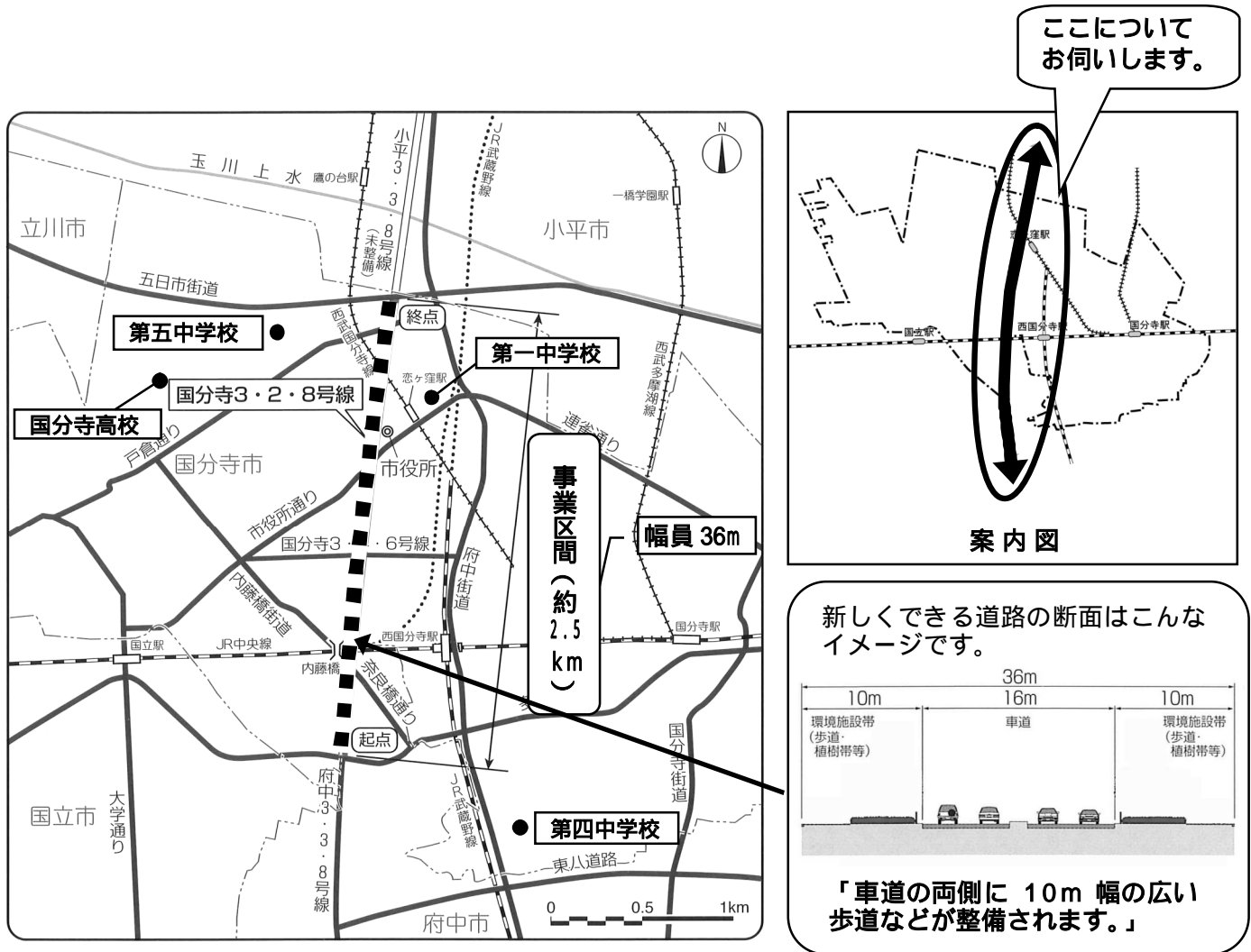
問6 . 自由回答（中学生）

自由意見については回答者の意見を正確に伝えたいため、別途整理を行い閲覧の予定。

# 国分寺市のまちとみちに関するアンケートのお願い

国分寺市都市計画課

「国分寺市に市内の南北につなぐ新しい道路が今後整備されます！」



国 3・2・8 号線の沿道まちづくりに興味を持った人はこちらをどうぞ！

国分寺市役所HPより都市計画課のページをごらんください。

沿道まちづくりの検討風景・検討内容が分かります。

[http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/ptl\\_ka/40tos/detail/index.html](http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/ptl_ka/40tos/detail/index.html)

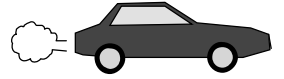
案内窓口（連絡先）

国分寺市都市計画課までお願いします。

電話：042-325-0111（内線512）

メール：toshikeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp

# 国分寺市のまちとみちに関するアンケート



1 あなたのことについてお伺いします。それぞれあてはまるものを1つだけ選んでをつけて下さい。

学 年	1年 ・ 2年
お住まい	国分寺市内 ・ 市外

2 国分寺はどのようなまちだと思いますか。それぞれ、「はい」か「いいえ」で教えてください。

質問項目	はい	いいえ
緑が多いまちだと思う	1	2
農地（畑など）が多いまちだと思う	1	2
住宅が多く静かなまちだと思う	1	2
買物が便利なまちだと思う	1	2
交通の便がよいと思う	1	2
公園や広場など遊べる場所が多いと思う	1	2
市内道路は、安全で快適に歩けると思う（自転車などで走れる）	1	2

3 新しい道路ができる時に、あなたは、どのような歩道を整備してほしいと思いますか。それぞれ、当てはまるものを1つだけ選んで、番号にをつけてください。あくまで、部分的なイメージとしてご回答下さい。

3-1．まず、歩道のみどりは、どのようなイメージがよいと思いますか。



1．緑が豊かなイメージ



2．1と3の中間のイメージ



3．低い木を中心とした見通しの良いイメージ

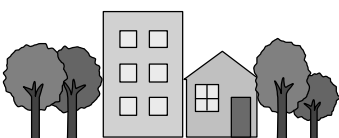
3-2．歩行者と自転車の分離は、どちらのイメージがよいと思いますか。



1．色による分離で広々としたイメージ

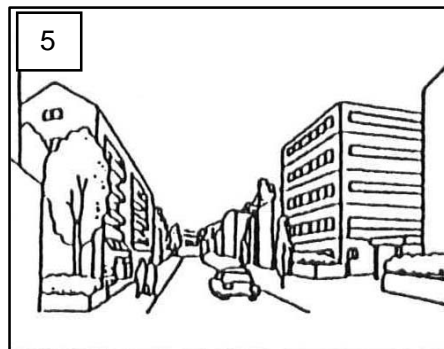
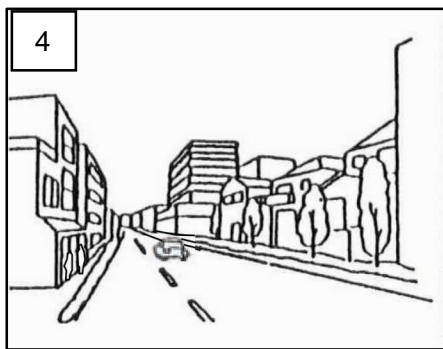
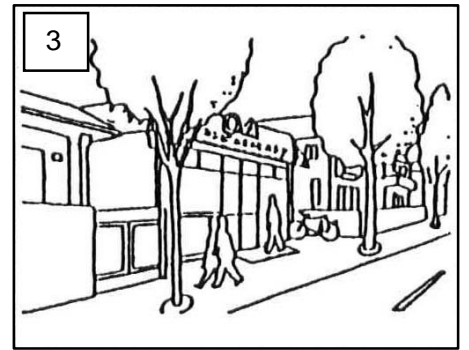
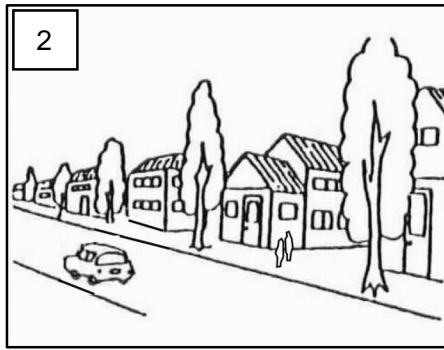
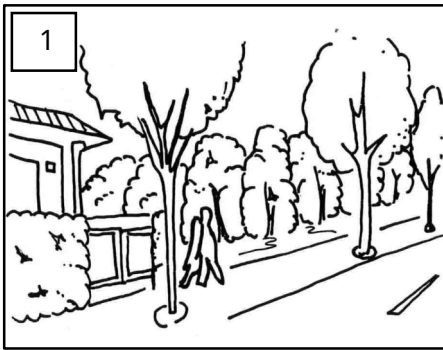


2．真ん中を植物で分離したイメージ





- 4 新しい道路ができる時に、道路沿いのまちなみが、どうなったら良いと思いますか。最も良いと思うイメージを1つだけ選んで、番号に をつけてください。また、選んだ理由もあわせて答えてください。  
あくまで、部分的なイメージとしてご回答下さい。



このイメージを選んだ理由は？（回答例：緑が多いから、まちなみが美しいから、まちが静かそうだから、生活が便利そうだから、にぎやかなイメージだからなど）

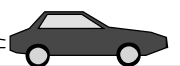
- 5 あなたは、新しく出来る道路の沿道まちづくりに関心がありますか。当てはまるものを1つだけ選んで、番号に をつけてください。

- 1 . とても関心がある      2 . まあまあ関心がある      3 . あまり関心がない  
4 . 全く関心がない      5 . 分からない

- 6 その他、国分寺のまちづくりや道路についてご意見があれば自由にお書き下さい。



ご協力ありがとうございました



第3回全体協議会意見から見た視点整理表

	くらし・にぎわい	環境	交通安全	景観	防災	その他
第3回協議会提示案	『いきいきしたまち』 緑に恵まれたうるおいある生活環境と、にぎわいのある場所がバランスよく配置されたまち 小学校区や自治会など地域コミュニティに配慮したまち	『緑と共生するまち』 公園や社寺林などの緑の拠点を街路樹や沿道の緑でつなぐ、緑のネットワーク 緑の軸となる環境施設帯は、沿道特性をふまえて整備 沿道地域の緑を育むとともに、緑を創出する工夫を考える	『安全快適なまち』 日常生活を送る上で必要な生活動線を確認 地区内の生活道路に通過交通を呼び込まないような交通安全に配慮したまちづくり	『美しいまち』 武蔵野らしい良好な景観資源の保全 環境施設帯と一体となった、緑豊かで質の高い市街地景観の形成 緑豊かで良好な沿道景観を創出できるしくみづくり	『災害に強いまち』 延焼遮断機能の向上 沿道建物の不燃化 細街路や行き止まり道路の、まちの更新に合わせた改善	
第3回協議会における意見	Aグループ					
	(土地利用のバランス) 今のままでいいんじゃないか。 バランスをとるのは玉虫色。緑・静かさ増して欲しい。賑わいは不要という考えもあるだろうがにぎわいの使い方(商業/居住)を整理すべき。	(全般) 緑を重視したい。 (災害時の役割) 災害時、遮断帯の果たす役割大きい。緑のボリュームを地球環境で考えると大きい。 子どもたちが安全でのびのびできるまちづくりということで、沿道に広い公園をつくってほしい(避難場所にも活用できる)。	(地域分断) 横断歩道は動線的に必要(100~150m毎に) 横断歩道は最小限でよい。トラック等の停止、発進により騒音が発生する。 地域コミュニティを分断する通路といわれる、横断歩道を作ることの問題もある。(発進時、騒音、振動) 横断歩道の問題は対立軸として出すべきではない。	(景観と美しさ) 街路樹について、将来の子どもたちの誇りになるような、桜の並木が欲しい。 (農と景観) 農地利用の方針をふれておくべき。	(防災の捉え方) 防災はひとくりにすべきではない。平常時と非常時を分けて考えるべき。	(公共施設の取り扱い) 市役所の跡地はどうなるのか。コミュニティと公害のバランスなどを計る必要がある。市民に示す上でも必要。 沿道に芸術ホールや出土品を展示できるような博物館がほしい。 (農の取り扱い) 農地(緑)を残したくとも、相続税(まちづくり法令(最低敷地の規制))などの関係で残すのが難しい。
Bグループ						
(くらし) 暮らしについては、全体的にかかるとはならないか。 賑わいについては、部分的に必要なところもあるので、活力という言葉でどうか。 (土地利用のバランス) 賑わいはというとガヤガヤしたイメージであり、ちょっと違う。 静かな環境がいいといって生活している人もいますので、にぎわいには抵抗感ある。違う表現にしてほしい。 (まちの快適性) 緑と景観だけでなく、住環境の快適性も必要	(緑と防犯) 緑が多くなると暗くなるので、ただ、緑をつなげばいいというものではない。(夜の通勤・通学で人気がないのは問題) 街灯があればいいのでは。街灯の有無ではなく人が通るかどうかが問題。人通りない区間が多いと問題。 緑を考える時には、防犯に配慮が必要ということか。	(交通安全の捉え方) 交通安全には、広く安全・安心を考えるべき。 交通安全を2つに分けたらどうか。1つは、日常的に住み続けられること。2つ目は、非日常の安全・防護に関する事。 (交通体系) 交通問題が重要(市街地や周辺は道路がすべて分断される対策)。 国分寺には、大きい道と細い道しかない。それを繋ぐ道路も必要 生活道路を脅かされないようにして欲しい 交通体系を考えるべき(Uターンの問題)	(地域らしさ) 武蔵野らしさではなく国分寺らしさをどう作るか。 (景観と美しさ) 景観と緑の美しさが重要。 建物、サイン、緑がすべて美しいと感じるものにしたい。 この道に入ったら、あぁいい道だというものにしたい (農と景観) 農の緑をどう考えるか。 農の視点も必要であり、景観で検討したらどうか。		(安全・安心) 安心して安全に子供からお年寄りまで暮らせることも必要(福祉も含む) (その他) 交通安全にはバリアフリー・防犯も含めて考えるべき。 (農の取り扱い) 道路が出来ると路線価が上がる。相続もある。緑だけでなく、農の事も考えて欲しい 農の話は専門的。そこまでは(解決策まで)議論出来ない。	

第3回全体協議会意見から見た視点整理表

	くらし・にぎわい	環境	交通安全	景観	防災	その他
第3回協議会提示案	『いきいきしたまち』 緑に恵まれたうるおいある生活環境と、にぎわいのある場所がバランスよく配置されたまち 小学校区や自治会など地域コミュニティに配慮したまち	『緑と共生するまち』 公園や社寺林などの緑の拠点を街路樹や沿道の緑でつなく、緑のネットワーク 緑の軸となる環境施設帯は、沿道特性をふまえて整備 沿道地域の緑を育むとともに、緑を創出する工夫を考える	『安全快適なまち』 日常生活を送る上で必要な生活動線を確保 地区内の生活道路に通過交通を呼び込まないような交通安全に配慮したまちづくり	『美しいまち』 武蔵野らしい良好な景観資源の保全 環境施設帯と一体となった、緑豊かで質の高い市街地景観の形成 緑豊かで良好な沿道景観を創出できるしくみづくり	『災害に強いまち』 延焼遮断機能の向上 沿道建物の不燃化 細街路や行き止まり道路の、まちの更新に合わせた改善	
第3回協議会における意見	Aグループ					
	(土地利用のバランス) 今のままでいいんじゃないか。 バランスをとるのは玉虫色。緑・静かさ増して欲しい。賑わいは不要という考えもあるだろうがにぎわいの使い方(商業/居住)を整理すべき。	(全般) 緑を重視したい。 (災害時の役割) 災害時、遮断帯の果たす役割大きい。緑のボリュームを地球環境で考えると大きい。 子どもたちが安全でのびのびできるまちづくりということで、沿道に広い公園をつくってほしい(避難場所にも活用できる)。	(地域分断) 横断歩道は動線的に必要(100~150m毎に) 横断歩道は最小限でよい。トラック等の停止、発進により騒音が発生する。 地域コミュニティを分断する通路といわれる、横断歩道を作ることの問題もある。(発進時、騒音、振動) 横断歩道の問題は対立軸として出すべきではない。	(景観と美しさ) 街路樹について、将来の子どもたちの誇りになるような、桜の並木が欲しい。 (農と景観) 農地利用の方針をふれておくべき。	(防災の捉え方) 防災はひとくりにすべきではない。平常時と非常時を分けて考えるべき。	(公共施設の取り扱い) 市役所の跡地はどうなるのか。コミュニティと公害のバランスなどを計る必要がある。市民に示す上でも必要。 沿道に芸術ホールや出土品を展示できるような博物館がほしい。 (農の取り扱い) 農地(緑)を残したくとも、相続税(まちづくり法令(最低敷地の規制)などの関係で残すのが難しい。
Bグループ						
(くらし) 暮らしについては、全体的にかかるものではないか。 賑わいについては、部分的に必要なところもあるので、活力という言葉でどうか。 (土地利用のバランス) 賑わいはというギャガヤしたイメージであり、ちょっと違う。 静かな環境がいいといって生活している人もいますので、にぎわいには抵抗感ある。違う表現にしてほしい。 (まちの快適性) 緑と景観だけでなく、住環境の快適性も必要	(緑と防犯) 緑が多くなると暗くなるので、ただ、緑をつなげばいいというものではない。(夜の通勤・通学で人気がないのは問題) 街灯があればいいのでは。 街灯の有無ではなく人が通るかどうかが問題。人通りない区間が多いと問題。 緑を考える時には、防犯に配慮が必要ということか。	(交通安全の捉え方) 交通安全には、広く安全・安心を考えるべき。 交通安全を2つに分けたらどうか。1つは、日常的に住み続けられること。2つ目は、非日常の安全・防護に関すること。 (交通体系) 交通問題が重要(市街地や周辺は道路がすべて分断される対策)。 国分寺には、大きい道と細い道しかない。それを繋ぐ道路も必要 生活道路を脅かされないようにして欲しい 交通体系を考えるべき(Uターンの問題)	(地域らしさ) 武蔵野らしさではなく国分寺らしさをどう作るか。 (景観と美しさ) 景観と緑の美しさが重要。 建物、サイン、緑がすべて美しいと感じるものにした。 この道に入ったら、ああい道だというものにした (農と景観) 農の緑をどう考えるか。 農の視点も必要であり、景観で検討したらどうか。		(安全・安心) 安心して安全に子供からお年寄りまで暮らせることも必要(福祉も含む) (その他) 交通安全にはバリアフリー・防犯も含めて考えるべき。 (農の取り扱い) 道路が出来ると路線価が上がる。相続もある。緑だけでなく、農の事も考えて欲しい 農の話は専門的。そこまでは(解決策まで)議論出来ない。	
対応方針(学識のみ)	視点について「くらし」は、全体にかかる言葉であることから、将来像の中で反映させる。 視点は、「活力」とし、まちの利便性・快適性の視点も含むものとする。 「コミュニティ」に関する内容は、交通安全(防犯)の中で記述する。 土地利用バランスの考え方(表現)については要検討。	視点として、内容を明確にするため「環境(みどり)」に変更する。 延焼遮断帯としての役割を明記する。 緑の量と防犯の関係(防犯への配慮)を明記する。	視点として、交通安全を広義に捉え「安全・安心」に変更する。 日常的な安全・安心として、バリアフリーの視点も追加する。 非日常の安全・安心として、防犯の視点も追加する(コミュニティの視点も含む)。	視点は、事務局案とする。 沿道景観として、武蔵野らしさではなく、国分寺らしさを明記する。(らしさの定義は要検討)。 まち並みの美しさについても明記する。 農の方針については、緑として捉えるのではなく、景観の保全・活用として捉え、内容を追加する。	視点は、事務局案とする。 平常時の防災の視点に加え、緊急時の防災の視点(例えば、緊急輸送道路として活用)も追加する。	視点として、交通安全を広義に捉え「安全・安心」に変更する。 [再掲] 日常的な安全・安心として、バリアフリーの視点も追加する。 [再掲] 非日常の安全・安心として、防犯の視点も追加する(コミュニティの視点も含む)。 [再掲]